

9 南砺市 (2校)

チャレンジ10通信

- ・ 城端小学校
- ・ 井波小学校

学校名	南砺市立城端小学校		
担当教諭	荒木典子 先生 安田 裕子 先生 本田 翔 先生	担当推進員	杉森 茂 さん
取組み期間	令和元年	参加児童数	26 人

環境チャレンジ教室（前編）

○日 時 令和元年 6 月 21 日（金） 13：50～14：35

○使用教材

パワーポイント資料（地球温暖化説明資料）

○説明内容など

- ・ 自己紹介
- ・ パワーポイント資料で、地球温暖化の説明
- ・ チャレンジ 10 の説明
- ・ 地球温暖化についてグループディスカッション
- ・ 各グループ発表
- ・ チャレンジ 10 でやってもらいたいこと

環境チャレンジ教室（後編）

○日 時 令和元年 9 月 17 日（火） 13：50～14：35

○使用教材

自作パワーポイント・発電玩具（光、風力、手回し）電球の電力比較（白熱灯・蛍光灯・LED 灯）

○説明内容など

- ・ パワーポイントでチャレンジ 10 の結果報告
- ・ 地球温暖化についてグループディスカッション
- ・ 発電玩具で再生エネルギーの勉強
- ・ 電球の電力比較で、LED 灯の省エネルギーの確認

【環境チャレンジ教室の様子】



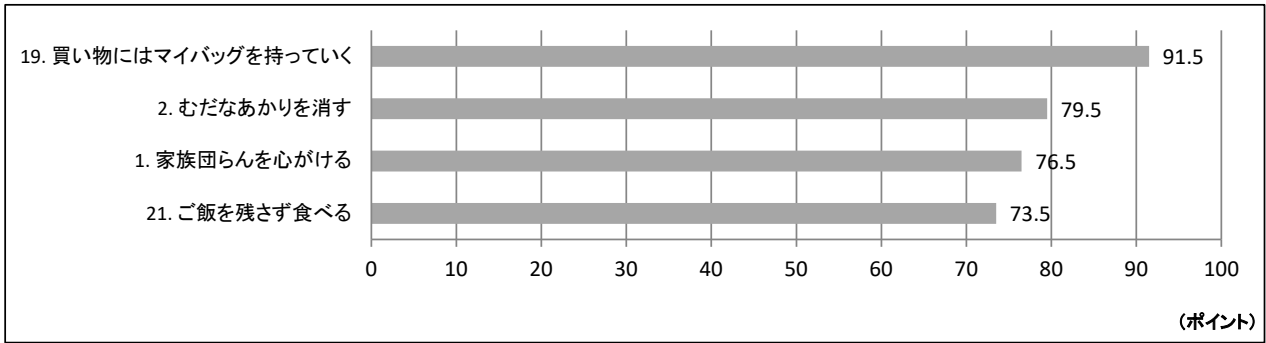
推進員から児童のみなさんへのメッセージ

今年も台風や、集中豪雨で、各地に大きな被害が発生しています。温暖化が進むとさらに被害が大きくなると考えられます。温暖化防止活動を継続し、少しでも災害が少なくなるようにしましょう。

城端 小学校のみなさんへ

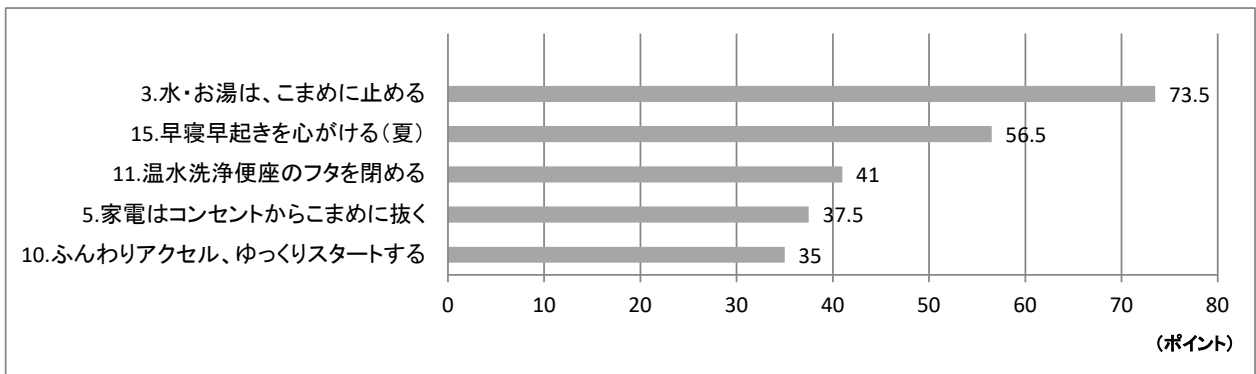
みなさんが、がんばってとりくんだチャレンジ10の結果をまとめましたので、おしらせします。

1. 「かならずチャレンジ」がんばり度ランキング（※ポイント制）



※ポイント制：「よくできた」を1ポイント、「まあまあできた」を0.5ポイント、「できなかった」を0ポイントとして計算

「えらんでチャレンジ」がんばり度ベスト5（ポイント制）



2. みんなでへらした地球をあたためるガス（二酸化炭素） 約 929 kg

とりくみの効果（目安）



■ サッカーボールで例えると・・・

約 92,898 個分

※サッカーボール1個（体積）は、二酸化炭素約10gに相当。



■ 杉の木で例えると・・・

約 66 ほんぶん

※大きく成長した杉の木（50年で高さが20～30m）は1年間で平均して約14kgの二酸化炭素を吸収するとされています。（参考：地球温暖化防止ポータルサイト）



■ 節約できた金額は・・・

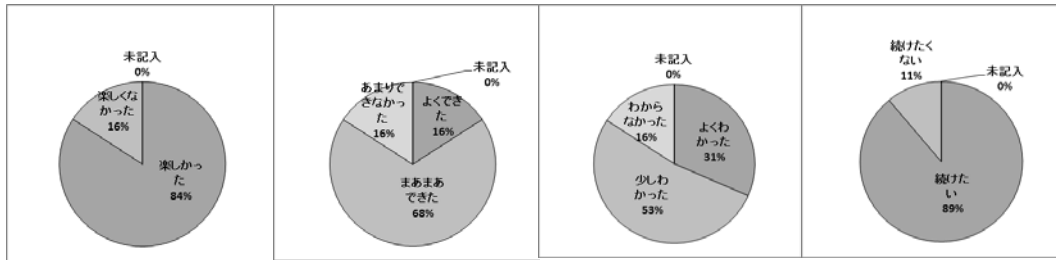
約 77,945 円

3. 工夫したこと、独自のとりくみ

○工夫したこと	○独自のとりくみ
<ul style="list-style-type: none"> クーラーを使わず扇風機をつけました。 となみ野チャレンジに向けて早寝早起きを心がけました。 お互いに声を掛け合いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 割り箸を使わない ゴミの分別
など	など

4. ふりかえり

- ①とやま環境チャレンジ10は楽しかったですか？
 ②選んだとりくみは、4週間よくできましたか？
 ③地球温暖化は、どのような問題わかりましたか？
 ④これからも地球温暖化を止めるとりくみを続けていきますか？

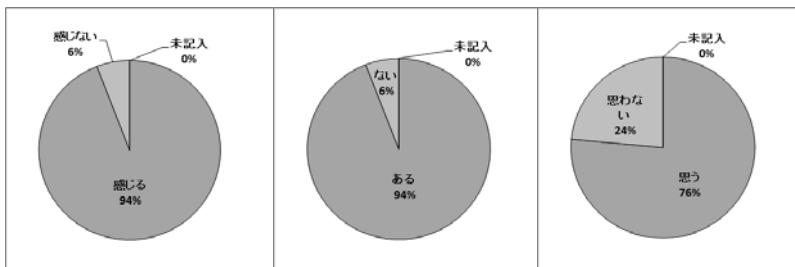


感想やがんばりたいこと

- 家電のコンセントを抜いて節電できた。
- シャワーの時間が長いので、もう少し節水を心がけたいです。
- 二酸化炭素を減らすためにゴミを減らしたい。
- この取り組みを続けていきたいです。
- この先、地球がどうなっていくのか知りたいです。
- むだな明かりを消すことを頑張りたいです。

5. ご家族の方へのアンケート

- ①地球温暖化に対する意識は高まったと思いますか？
 ②習慣化した取組みがありますか？
 ③チャレンジ10の取組みにより、家計の節約になったと思いますか？



感想や意見

- 地球を守るにはみんなで取り組み効果を上げることが重要と感じた。
- 雷が鳴り、コンセントを抜いていくとけっこうムダな待機電力を使っていることに気づき、電源を切るようになりました。
- ふんわりアクセル頑張ります。まずは5分前行動で慌てなくて良いように…ですね。
- 目標を明確にしたことで、取り組みやすかった。
- 子供たちが自分で考えた取り組みであることがとても良かったと思う。
- 小さなことでも、続けることが大事だと思いました。
- 子どもが、電気や水の、ムダを減らそうと、使わない電気はこまめに消したり、どうしたら水を少なく使うかなど自分なりに工夫していました。



これからもチャレンジ10のとりくみをつづけましょう！

学校名	南砺市立井波小学校		
担当教諭	西嶋 有美子 先生 吉田 尚子 先生 金田 優子 先生	担当推進員	得永 榮治 さん
取組み期間	令和元年7月20日～9月1日	参加児童数	43 人

環境チャレンジ教室（前編）

○日 時 令和元年6月17日（月）10：40～11：25

○使用教材

パワーポイント（独自に作成）により説明

○説明内容など

- ・ 自己紹介
- ・ 地球温暖化について
- ・ CO2の実験
- ・ 食品ロスについて
- ・ ゴミの問題について
- ・ 夏休み中のチャレンジ10について
- ・ まとめ
- ・ CO2の実験及び手回し発電機による実験

環境チャレンジ教室（後編）

○日 時 令和元年9月19日（木）10：40～11：25

○使用教材

パワーポイント

○説明内容など

- ・ 夏休み中に取り組んだ結果について説明
- ・ 前期のおさらい（地球温暖化とはどんなことだろう・食品ロスを減らしましょう・ごみ等による海の汚染を防ぎましょう）
- ・ 3Rクイズ（6問）
- ・ CO2の実験及び手回し発電機による実験

【環境チャレンジ教室の様子】



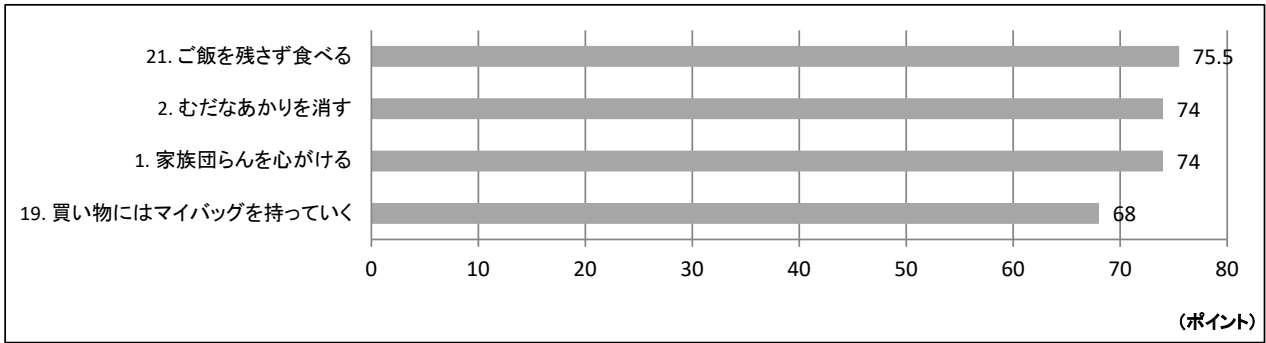
推進員から児童のみなさんへのメッセージ

無理なく自分で取り組めることを続けてほしい。また、楽しみながら続けられるよう家族を巻きこんで行ってほしい。

井波 小学校のみなさんへ

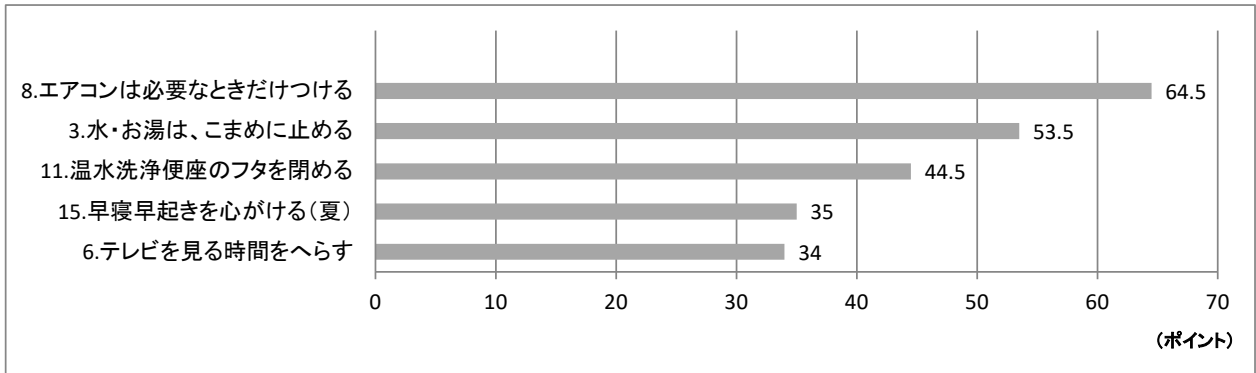
みなさんが、がんばってとりくんだチャレンジ10の結果をまとめましたので、おしらせします。

1. 「かならずチャレンジ」がんばり度ランキング（※ポイント制）



※ポイント制：「よくできた」を1ポイント、「まあまあできた」を0.5ポイント、「できなかった」を0ポイントとして計算

「えらんでチャレンジ」がんばり度ベスト5（ポイント制）



2. みんなでへらした地球をあたためるガス（二酸化炭素） 約 823 kg

とりくみの効果（目安）



■ サッカーボールで例えると・・・

約 82,301 個分

※サッカーボール1個（体積）は、二酸化炭素約10gに相当。



■ 杉の木で例えると・・・

約 59 ほんぶん本分

※大きく成長した杉の木（50年で高さが20～30m）は1年間で平均して約14kgの二酸化炭素を吸収するとされています。（参考：地球温暖化防止ポータルサイト）



■ 節約できた金額は・・・

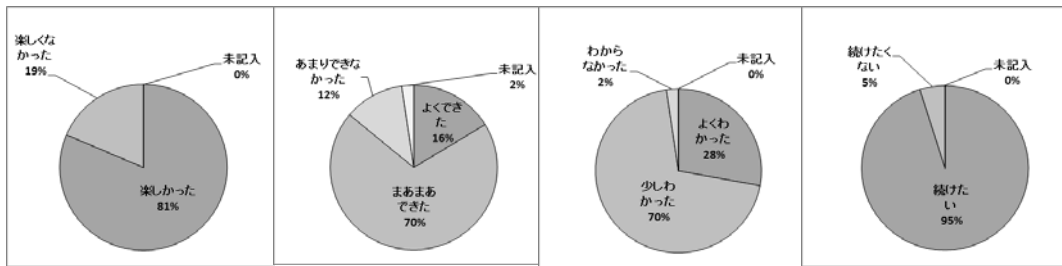
約 67,627 円

3. 工夫したこと、独自のとりくみ

○工夫したこと	○独自のとりくみ
<ul style="list-style-type: none"> ・お互いに声を掛け合ってチャレンジ10をした。 ・早寝早起きをする心で誓っていた。 ・家族と協力して取り組んだ。 ・この取り組みを続けたいと思う気持ちを大きくするように工夫したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行き先を決める。 <p style="text-align: right;">など</p>

4. ぶりかえり

- ①とやま環境チャレンジ10は楽しかったですか？
 ②選んだとりくみは、4週間よくできましたか？
 ③地球温暖化は、どのような問題わかりましたか？
 ④これからも地球温暖化を止めるとりくみを続けていきますか？

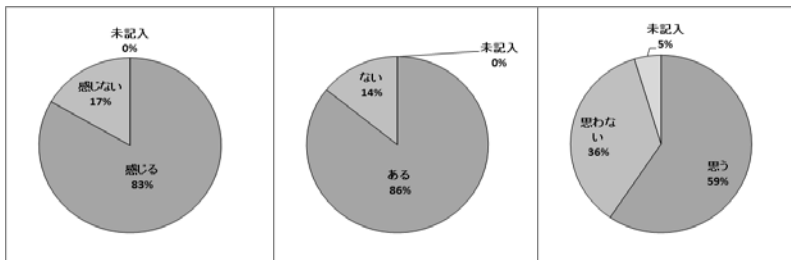


感想やがんばりたいこと

- これからも地球環境が悪かったりしたら、すぐに気づいて地球温暖化防止活動を頑張ります。
- これからも地球温暖化を止めるためにいろんなことを知りたいです。
- 早寝早起きをする。
- ゴミをしっかりと分別します。
- 水の出っぱなしやご飯を残さず食べることがすごく大事なのかなと思いました。
- エコになることをどんどんやっていきたい。

5. ご家族の方へのアンケート

- ①地球温暖化に対する意識が高まったと思いますか？
 ②習慣化した取組みがありますか？
 ③チャレンジ10の取組みにより、家計の節約になったと思いますか？



感想や意見

- こういう取り組みがあると節約にもつながり、子どもたちも気をつけてくれるので良いと思いました。
- 車の中に必ずエコバッグを入れておくこと。
- この活動は素晴らしいと思う。
- 忙しい時間の中でなかなか工夫に時間がかけれなかった。
- いろんなことを意識して取り組んだことで、家族みんなが自然と習慣化していった。
- 地球温暖化と自分たちの生活が関係していることが分かり意識が持てるようになった。

これからもチャレンジ10のとりくみをつづけましょう！

